

組織拡大 ~1000万連合 連合群馬12万5千人に向けて~ 「キックオフ宣言」から1年



「連合群馬12万5千人」に向けて、産別・地協・県連合の役員が一丸となって取り組むことを確認した、『1000万連合実現キックオフ宣言』から1年が経過しました。

連合群馬は定期大会で重点活動の第1項目として『組織拡大・組織強化』を掲げ、さまざまな取り組みを行ってきています。

これまでの電話相談は役職員の全体制で対応しており、組合づくりにおいては、相談者から「労働組合を作りたい」というダイレクトな相談が主流であり、初期相談を事務局で担っていました。しかし、会話の中で相手の状況を探りながら、労働組合の重要性を伝え組合づくりに結び付けることが重要であることを認識し、組織アドバイザーによる直接受ける体制を整えました。

また、より親身に顔の見える労働相談センターとして、毎週木曜日に前橋・高崎・太田地協で面談による相談を始めています。

労働相談から産別と連携し2単組が結成され、すでに産別移行されており、現在も組合の結成に向け活動

中です。

このような中ではありますが、組織人員調査（1月末）では94,072名となり、昨年比-152名と減少しました。組合数においては脱退・解散があるものの3組合の増加となっています。

再確認しよう！組織拡大目標は2020年9月までに現在より、プラス3万人。結成以来過去最高の組織人員【12万5千人】を目指すこと。2017年末は結成時の人数を上回る11万5千人、プラス2万人です。

労働相談からまず地域の未組織労働者に多く接することができるよう取り組みを進めています。そして、それぞれの組織で働く非正規労働者を仲間にするよう運動を展開していくこと、一番近いグループ企業や関連企業をターゲットに見据え、目標達成の足掛かりにしましょう。

産別・単組、地協、県連合が行動を起こせば、決して無理な数字ではありません。

「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向け積極的な行動を進めよう！



アドバイザー奮闘中

ある月のアドバイザー活動を記してみた。

この月の2週間は、特に面談相談が多かった。内容は明らかにできないが、以前、労働組合役員をしており、労働組合の重要性を認識した上で、息子の長時間労働と未払い賃金の相談。また、県内各地にある小売業の従業員からの「組合を作りたい」との相談に、アドバイザーの士気が更に上がる。もちろん、ここに記載しているものだけではなく、ユニオン加盟の労組役員と春闘交渉の情報交換や労組情報の作成、会社からの回答を精査するなど多岐にわたる。

こんな一幕も…打合せで、数日前の面談相談2件の状況報告中に2つ相談内容が入り交り、課題が山積みなのが分かる。もちろん、びっしりと書かれたノートを再確認し、次に繋げるために打ち合わせを行った。

X月の2週間カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
23 13時 Y氏 解雇対応 15時 担当者 打合せ	24 9時 Y氏対応 (社長と 交渉) A・T	25 電話対応 K	26 電話対応 10時 面談相談 A	27 電話対応 T	28 K労組執 行委員会 対応 TとA	29 10時 高崎で 面談相談 T
30 電話対応 A・K	31 10時 安中で 面談相談 T	1 I労組と 打ち合せと 発送作業 K	2 18~21時 H労組執 行委員会 T・K	3 10時 前橋で 面談相談 A	4	5

労働相談
新聞広告日

※アルファベットは担当アドバイザー

通常の倍の電話相談の対応に追われる！



ユニオン加盟のH労組執行委員会

なんでも労働相談対応中

アドバイザー こんな人



連合結成当時を知る高橋アド。運輸労連出身。アドバイザー歴9年。

裏顔：時間が空けば「農園づくりとマラソン」に勤しむ



労働問題もパソコンもなんでも知る神田アド。UAゼンセン出身。アドバイザー歴1年。裏顔：グルメ通。あそこへ行く時はこのお店！が合言葉



やさしい口調の裏にも真がある阿部アド。電力総連出身。アドバイザー歴2年。裏顔：日本酒を好むが今はほとんどに

いまさら聞けない……教えます！

A 連合群馬ユニオンとは

Q 加盟組合（個人加盟）は、群馬県内で働く労働者の団結と互助の精神により、組合員の労働条件の維持改善と相互扶助をはかることを目的とし、直ちに産別加盟することができない組織や、会社に組合がない個人が加盟しています。

個人加盟は、個人の解決に留まってしまい、職場環境改善には結びつくことが難しく、労働組合を結成して「集団的労使関係」を築き継続的に改善を目指します。

